

# 代表質問

## 鳥取県議会自由民主党



### 韓国江原道との交流展開

**問** 米子〜ソウル便が復活し、先端産業のクラスター造成を国家戦略として進める江原道と、ビジネスパートナーとしての位置づけを目指すべきではないか。

**答** 海路の可能性についても協議するなど、産業のシーズを膨らませていく。

### 物流の2024年問題

**問** 人手不足が深刻な中、速達性が重視される農水産物への影響が懸念される。本県の対応について問う。

**答** 官民連携プラットフォームをつくり、関係者と率直な意見交換をし、トラック・鉄道、海上輸送といったモーダルシフト（※1）についても議論している。

### 保育人材の確保

**問** 私立、公立の区別なく、人材バンクのような仕組みも対策の一つであり、ハローワークとの連携強化が必要ではないか。

**答** 保育所、保育士の支援センターが県社協にあり、マッチングしているが、県立ハローワークともつなぎ合わせ、求人や求職、職場環境としての人間関係づくり等を含め、総合的にアプローチをかけていく。

### 教育現場の負担軽減

**問** 教職員の負担軽減の観点から、保護者からの苦情が長期化しそうな場合、第三者の立場の教育委員会が解決に導くことが有効ではないか。

**答**（教育長） 県は、弁護士に委託して、法律相談窓口を設置し対応しているので、活用してほしい。年々相談件数も増加しており、来年度に向けて事業拡大を検討している。

### 文化芸術活動の促進

**問** 県内公立高校だけで、延べ200人程度、文化祭にバンド出演している学生がいる。ポピュラーソングコンテスト等、光の当たるステージを提供できないか。

**答** 若い世代が関心を持っていくところに焦点を当てた発表の場、とリアリティを高めることがあってもいいと思う。目標にできるような発表の機会を真剣に考える。

### 美術館の活用

**問** 県立美術館は、いろいろな可能性がある。平日のすいた時間を活用して、ループル美術館でみられるような、館内で模写するなどの場を提供できないか。

**答**（教育長） 県立美術館が、より様々な学びの場となること、感動をもたらす場となることを考えれば、一定のルールは必要だが、可能となるよう前向きに進めたい。

### 持続可能な水産業

**問** 資源評価対象魚が増えると、計量や数量集計等の手間や事務作業の負担増になる。現場の声を把握し、漁業者に寄り添い、国に対して提言すべきは敢然と主張する姿勢で臨むべきではないか。

**答** システム開発や簡素化、場合によっては制限を適用しないこと

### 富裕層の誘客

も含めて、柔軟に考えてもらう必要がある。要請活動はしてきているが、これをフォローしていく。また、漁獲規制について、対岸諸国に対しても日本海沿岸地域の県と連携して、要請活動をしていく。

**問** 鳥取・島根エリアがモデル観光地に共同で選ばれ、国から人材の紹介や支援を受けることとなったが、どのように誘客を図るのか。

**答** 専門家とともにマスタープラン作りが進行中。ハイエンド層（※2）を狙うために食や座禅体験、大山でのトレッキングなど従来の旅行商品とは違うところも含めて、もう一つの日本を楽しんでもらう。

### 高規格道路整備の促進

**問** 米子〜境港間の高規格化は、国土強靱化・防災のための命の道として不可欠で、地元の熱意が高まる中、知事の意気込みを問う。

**答** 初めて島根県知事と共に要請活動をする中で、担当大臣からは、「熱意は十分わかった。凍結区間の解除や事業化について否定的に考えてはいない」とのこと。本県は、検討予算も計上しており課題は出てくると思うが、熱意を増してきたので理解を得ながら成案につなげていく。

（※1）モーダルシフト…トラック等による貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること  
（※2）ハイエンド層…富裕層ともいわれ、預貯金を含む純金融資産保有額が1億円以上の世帯